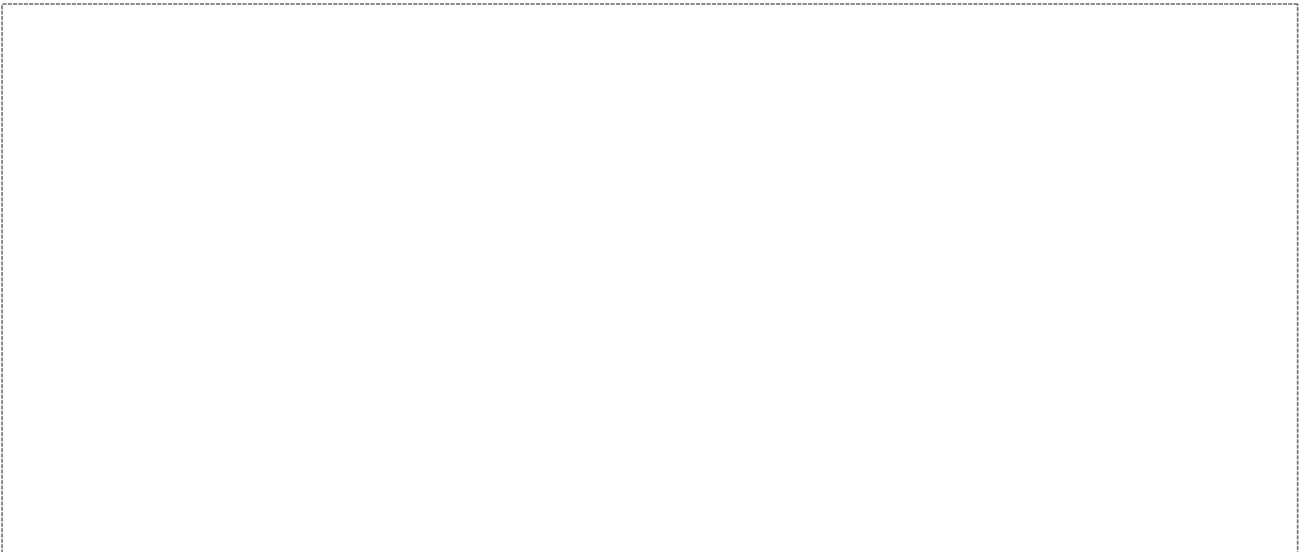


2. グループ・ヒアリング

(1) 調査概要



<ヒアリング風景>



子育て世代（未就学児）



働く世代（20～30歳代）



学生



子育て世代（就学児）



働く世代（40～50歳代）



シニア世代

(2) 調査結果のまとめ

■グループ・ヒアリングによる稲敷で豊かに暮らすためのキーワード

いいものをもっと積極的に発信
 多世代交流が活発な地域コミュニティ
 若い世代が暮らしやすい環境づくり

■調査結果

稲敷らしさ	稲敷らしさを維持する課題	改善の手段
<p>観光資源・特産品が多い</p>	<p>【資源の活用・維持】 PR不足 地域産業の担い手不足</p>	<p>【資源の発信】 SNSを使った発信 観光拠点化 特産品の開発・活用など</p>
<p>自然が豊か</p>	<p>【コミュニティの変化】 排他的なコミュニティ 若い世代との交流が少ない 地域の交流の場が減少 地域のまとめりがなくなった</p>	<p>【施設や場の活用】 農地をコミュニティの場として活用 施設の利活用（学校跡地等）など</p>
<p>コミュニティが良い</p>	<p>【若い世代のまち離れ】 公共交通が利用しにくい 働く場がない 子育てと仕事の両立できない 小児科・病院（救急）不足 子どもの遊び場が少ない 学生の居場所がない（勉強の場）</p>	<p>【コミュニティの再生】 地域のお祭りの復活 多世代交流の場 あいさつの推進など</p> <p>【いきいき暮らす】 市民と企業の仕事のマッチング 若い世代の働く場・雇用創出 シニア世代の活用 情報拠点（市民大学）など</p>

■主な意見（全体・各グループ）

	稲敷市の良いところ	稲敷市の悪いところ	5年前、10年前とどう変わったか	豊かに暮らしているイメージ	そのために何をしたらよいか
主な意見のまとめ	<p>■共通の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊か・空気がおいしい 広大で美しい風景(海・湖・山) 家の庭が広い・静か コミュニティがとても良い(人間的) 特産品(米・レンコン、浮島のとうもろこし、揚げもちなど)がおいしい 観光資源や農産物などの地元よさがある 自然災害が少ない フラックバス釣りが売り・ゴルフ場が多い 圏央道のインターチェンジが2箇所あり、高速道路を利用しやすい 都会へのアクセスがよい <p>■個別の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あいやい」は親子とも思抜きができて良い(子育て世代(就学児)) 通勤ラッシュのストレスがない(働く世代(20~30代)) 	<p>■共通の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通の便(公共交通) 近隣(阿見、神崎)と比べて圏央道に対する取り組みが消極的 夜間救急病院がない 合併して地域のまとまりや責任感がなくなった 農作物がアピールできていない・名産品があまりない 遊ぶところも見場所もない <p>■個別の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強しやすい場所がない(学生) 生涯学習センターが活用されていない(学生) 駅までの距離など通学を考えた高校の選択が狭まる(学生) 働きながら子育てする環境が整っていない(職場環境) 子どもを遊ばせる公園が少ない(子育て・未就学) 雨の日に室内で遊べるような所がない(子育て・未就学) 小児科がない(子育て・未就学) 学校が単学級なので狭い世界で逃げ場がない(子育て・未就学) 他所から来た人が地域のコミュニティに入り込むのが難しい 女性の活用 若い世代とのコミュニケーションが減少している アップダウンがない土地をうまく活用(堤防でウォーキング) 合併して地域のまとまりや責任感がなくなった 	<p>■共通の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道ができて利便性が高くなった 子どもが少なくなって行事も少なくなった 老人が多くなった・外で遊ぶ子どもが少なくなった 独自の男性が多く見られるようになった 地域の交流の場がなくなった 地域の町民祭などのコミュニケーションの場・機会がなくなった 町村単位でやっていた運動会や花火大会などのイベントは、合併してからなくなってしまった 若い人のコミュニケーションが少なくなってきた 他所の人も集まってくる祭りがなくて寂しい 住む人が減って空き家が増えた 米作りが減少・大規模化・担い手・後継者不足 いなすけが生まれた <p>■個別の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃校跡地を活用して野菜工場ができた 不審者や犯罪が増えてきている 時代の変化が加速度的に速まっている(商店街における商売の在り方など) 	<p>■共通の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな中で暮らすこと 環境がよくて住みやすいこと 時間に余裕があって、のんびり過ごせる感じ 挨拶と笑顔がたえないまち 人間関係の良さ・地域のコミュニティ 地域の人との心のつながりが大事 人々が交流(いろいろな世代が共存できること) 文化的要素や体育的要素のある村民大会のような催しが行われていること 独居老人になっても孤独死しないコミュニティ 3世代同居が増えることよい 子どもが大勢元気な外で遊んでいること・子どもや若者の賑わい 仕事場が近くにあること 働き方として市民と企業のマッチング 働きながら子育てできる環境が整え、新住民を増やす <p>■個別の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 人が集まる情報拠点としての市民大学の開校 子どもが元気な外で遊べる安全なコミュニティがあること 飲み屋が増えたらよい(働く世代(20~30代)) 高齢のご夫婦が同じ趣味を楽しんで暮らしている姿を良いと思えるよう子どもが育つこと 相談する場所(子育てする親の方のケア) 	<p>■共通の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のお祭り・どんな人でも集まれるような地区ごとのイベント コミュニティを促すイベント(会話が弾む芋煮会) 既存のコミュニティに新住民や外国人でも入り易い環境をつくる 学校を活用した地域のコミュニティの催事 地元に対する愛着を育む 地域のお祭りがほしい(子どもが楽しめる祭り) お年寄り子どもが交流する機会を増やすとよい まず市民同士が挨拶などをする 地域や市に興味を持って知ることが市民としてできること 特産品の開発・活用 SNSで魅力をアップする(LINEを活用したイベント告知) 地域住民を巻き込んで意識を高めて防犯に取り組む 雇用・働く場所を増やす <p>■個別の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸崎の体育館を活用して情報発信する 若者を流入させる仕組み(起業農家育成、空き家の活用など) COOOLカフェの充実(子育て世代(未就学児)) 相談する場所(子育て世代(未就学児)) 空き家情報を確認できるようにする シニア世代の能力を引き出して活用するとよい 市民大学を開校してコミュニケーションを促進・市民講座を開講して職業能力の開発に取り組む 農地をコミュニティの場にする 和田公園を土浦の水郷公園のように整備する サービスエリアやパーキングエリアを観光拠点にする 霞ヶ浦を浜名湖のジェットスキーのように活用する 人を呼べるようなおしゃれなフェスの開催 いなすけを活用して一体感を醸成
学生	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然が豊かなところ、田園風景や湖が豊富にある 自然が豊かで過ごしやすい <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティがとても良い (住んでいるアパートの)子どもも親同士も仲が良い 	<p>・勉強しやすい場所、長時間利用できる場所がない</p> <p>・図書館の開館時間を延長してもらいたい</p> <p>・歩いて買い物に行かれる場所やゆつたりできる場所があれば良い</p> <p>・駅に出るまで遠く、通学するか引っ越すか、道路を考えるとときに壁になった</p> <p>・結核に住んでいて、江戸崎の方には行かず、佐原や潮来のほうが主な生活圏になっている</p> <p>・稲敷市から出たい(周りに何も無い。病院はない、ショッピングセンターはない)</p> <p>【公共施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターが活用されていない 	<p>【子ども・人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが減った 子どもが少なくなって行事も少なくなった 他所の人も集まってくる祭りがなくて寂しい 地区対抗の運動会や地域の夏祭りも減った 住宅地でのコミュニティはともない(新利根地区) 	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな中で暮らすこと <p>【コミュニティ・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな世代が共存できること 挨拶など人間関係の良さ 良いコミュニティ 人々が交流しているというイメージ <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来的には大きな病院と品揃え豊富なショッピングセンターがあれば良い 	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の総合的な学習の時間などを活用して、市の良いところを勉強する時間を設けて、地元に対する愛着を育む お年寄り子どもが交流する機会を増やすとよい <p>【地域交流・行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事などいろいろな交流の仕方がある 出て行きたいという人を増やすために交流を深める <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲敷市の魅力に気づいていないため、市のことを知ること、発信していくことが大事 江戸崎の体育館を活用して情報発信する <p>【市民の自覚】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何もしなくていいと言っ前に、興味を持って知ることが市民としてできること まず市民同士が挨拶などをする
子育て世代(未就学児)	<p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の地域と比べて助成金も健診も多い <p>【米】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米がおいしい <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> おじいちゃん、おばあちゃんが子どもに声をかけてくれて安心 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境がよい 	<p>【公園・娯楽施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを遊ばせる公園が少ない 公園が少ない 公園に遊具がない、整備がされていない サッカーができるような公園がない 雨の日に室内で遊べるような所がない <p>【医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科がない 夜間救急病院がない 救急の対応が良くないし遠い <p>【子育て・学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校が単学級なので狭い世界で逃げ場がない フルタイムで仕事をしながら育児をすることは大変 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物も不便、病院も少ない、仕事もするにも遠い 	<p>【子ども・人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外で遊ぶ子どもが少なくなった <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費の自己負担が少なくなった 子どもの一時的預けをしやすくなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併して10年経ったが今後が心配 若い人のコミュニケーションが少なくなってきた 不審者や犯罪が増えてきている 	<p>【地域交流・行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談する場所(子育てする親の方のケア) 地域のお祭りがほしい(子どもが楽しめる祭り) 学校を活用した地域のコミュニティの催事 学校の場を借りて地域が集まるようなイベント・祭り(盆踊りなど) <p>【情報発信・PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSで魅力をアップする(稲敷で行ってみたいという魅力をアップしている人がいない) COOOLカフェ(稲敷市子育て支援サイト)にはイベントがないときでもネタ的なもの上げる LINEを活用したイベント告知 情報が少ない、広報誌はいつのまにかなくなってしまう 	<p>そのために何をしたらよいか</p>
子育て世代(就学児)	<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東に海、西に富士山が見えるほど関東平野が続く広大で美しい風景 田んぼが多い <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域性、近所づきあいが良い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスが走るようになった 「あいやい」は親子とも思抜きができて良い 	<p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> バスが統合されると子どもにとって不便になるので、スクールバスやコミュニティバスの活用を検討するとよい 交通の便が悪い <p>【職・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に働く場所がない・子育てママの働き場がない 若い世代が働く場所がない <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミの不法投棄が多い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併しても4地区が分かれている感がある 若い世代とのコミュニケーションが減少している 	<p>【子ども・人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外で遊ぶ子どもが少なくなった <p>【子育て】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費の自己負担が少なくなった 子どもの一時的預けをしやすくなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併して10年経ったが今後が心配 若い人のコミュニケーションが少なくなってきた 不審者や犯罪が増えてきている 	<p>【仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方として市民と企業のマッチングがうまくいっていない※平日9時~16時で土日休み、子どもの具合が悪ければ休める近隣の事務の仕事が理想 働きながら子育てできる環境が整えば、新住民が入り易い <p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民を巻き込んで意識を高めて防犯に取り組む 3世代同居が増えることよい 子どもが元気な外で遊べる安全なコミュニティがあること <p>【情報発信・PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人が集まる情報拠点としての市民大学の開校 米・ゴルフ場等をもっとPRしてふるさと納税の寄付を促す 空き家情報を確認できるようにする <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民大学を開校してコミュニケーションを促進する 財源も限られているので本当に取り組むべきことを絞ったほうがよい 高校生の声を取り入れる 	<p>そのために何をしたらよいか</p>

	稲敷市の良いところ	稲敷市の悪いところ	5年前、10年前とどう変わったか	豊かに暮らしているイメージ	そのために何をしたらよいか
働く世代 (20530代)	<p>【圏央道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道のインターチェンジが2箇所あり、高速道路を利用しやすい 都会へのアクセスがよい <p>【米・食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミルククイーンの元祖 江戸崎まんじゅうがおいしい 鴻野菓子店の「ここの大福」がゴルフ客に人気 <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住みやすい 自然災害が少ない 温暖で住みやすい気候 通勤ラッシュのストレスがない <p>【娯楽施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラックバス釣りが売り ゴルフ場が多い(日本ウェルネススポーツ大学のゴルフ部を誘致した) 	<p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道がない <p>【PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作物(米、れんこん、かぼちゃ)のアピールができていない 米は県内市町村でトップの作付面積なのに認知されていない <p>【娯楽施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊ぶところも見場所もない ゴルフ練習場がない <p>【子育て・学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援が充実していない 放課後に学校で習い事・塾をやってもらいたい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商業地の誘致が進んでいない 	<p>【子ども・人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口が減った 子どもが少なくなった 子どもより老人が多くなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 後継者がいない 空き家が増えた コンビニが2軒できた ソーラーパネルだらけになった 生活が向上しているという点はない 	<p>【家族との時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> お金があって子どもや家族と接する時間が多いこと <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で老人が子どもの面倒をみている光景 子どもが大勢元気に外で遊んでいること 子どもや若者の賑わい 地域のコミュニティ 独居老人になっても孤独死しないコミュニティ 子どもが安心して育つ環境 <p>【まち活カ】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちの発展 まちに活カがあること <p>【各種施設・職】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事場が近くにあること 飲み屋が増えたらよい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福度が高いこと 社会的排除者が活躍できること ストレスをためないこと 	<p>【職・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雇用・働く場所を増やす 企業誘致 若い世代が住めるように雇用を増やす <p>【観光・イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和田公園を土浦の水郷公園のように整備する サービスエリアやパークینگエリアを観光拠点にする 霞ヶ浦を浜名湖のジェットスキーのように活用する 人を呼べるようなおしゃれなフェスの開催 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者を流入させる仕組み(起業農家育成、空き家の活用など) バス路線の充実

	稲敷市の良いところ	稲敷市の悪いところ	5年前、10年前とどう変わったか	豊かに暮らしているイメージ	そのために何をしたらよいか
働く世代 (40550代)	<p>【自然・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然が多い 静かで住宅の産も広い 空気が美味しい 静かで商店街もあり、ちょうど良い田舎 <p>【食】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浮島のとうもろこしが美味しい あげ餅が美味しい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源や農産物など地元の良さがある イベントなどで人を集めようと努力している 庁舎が増えてどこでも手続きができる 	<p>【PR・積極性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣(阿見、神崎)と比べて圏央道に対する取り組みが消極的 よくテレビや映画のロケ地になるがPRが不足して稲敷の名前が出ない 名物があっても活かされていない <p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車がないと仕事が見つからない <p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他所から来た人が地域のコミュニティに入り込むのが難しい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併して地域のまとまりや責任感がなくなった 旧町村同士が一つになっていない 	<p>【圏央道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道ができて利便性が高くなった <p>【地域の交流・行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町村単位でやっていた運動会や花火大会などのイベントは、合併してからなくなってしまった 地域の交流の場がなくなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい店ができた 新住民の家が建った 空き家が多くなった 挨拶が少なくなった 防犯のために子ども達が登下校時に名札を外し、知らない人には声をかけないように 合併したことで、埋もれていた観光資源や物産など地元の良さが見直され、いなすけが生まれた 時代の変化が加速度的に速まっている(商店街における商売の在り方など) 	<p>環境がよくて住みやすいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶と笑顔がたえないまち 市の魅力が求心力になって市全体の一体感があること 3世代が笑って一緒に暮らしていること ゆっくり時間が流れている中で生活している 	<p>【地域交流・行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな人でも集まれるような地区ごとのイベントを実施することで既存のコミュニティに新住民や外国人でも入り易い環境をつくる(コミュニティの場をつくる) 作りながら会話が弾む羊羹会のようなイベントを実施する 旧町村が一つになれるような市全体としての連携を促進する <p>【特産品の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> びわを名物にして食べ比べなどでまちおこしする かぼちゃだけでなく、蓮やとうもろこしを活用 地域の物産をお客さんに食べてもらう 各地区の商工業者が積極的に地元の物産をお互いにPRしあう 直売所や道の駅のようなものが何箇所もあると良い 米を上手に炊けた人コンテスト、利きライスコンテストをする <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスを増設する 外に向けての要望やPRを積極的にする 手軽に健康維持 農地をコミュニティの場にする いなすけを活用して一体感を醸成

	稲敷市の良いところ	稲敷市の悪いところ	5年前、10年前とどう変わったか	豊かに暮らしているイメージ	そのために何をしたらよいか
シニア世代	<p>【自然・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温暖な気候に恵まれている 自然災害が少ない 緑が多い <p>【圏央道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏央道の開通で交通アクセスが良い <p>【米・食】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米の有数の産地 れんこん、とうもろこし、大根が直売所でも良く売れる 米が美味しい <p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ほどほどに都市化していても人間の純朴さが残っている 住民が温厚で人情味に富んでいる 	<p>【公共交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の便が悪い <p>【情報伝達・広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> 回覧板を回す軒数が多すぎる 情報伝達をホームページだけで済ませてしまう姿勢はおかしい <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> アップダウンがない土地なので、堤防を利用したアスファルトでないウォーキングロードが出来るとよい 女性が活用されていない 飛行機の離着陸・圏央道の騒音 	<p>【子ども・人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住む人が減って空き家が増えた 少子高齢化、学校統廃合 <p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業の担い手がいなくなってきた 米作りが企業化、大規模化されるケースが増えてきた 品質が心配 耕地整備されているところでも耕すだけで作付けしないところが増えてきた 米作中心農家が多い 農地の集積化が進んだ 米の値段が半額になって、大きくやらないとやっていられない 畑の耕作放棄地は水田より多くなっている <p>【企業誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃校跡地を活用して野菜工場ができた 工場誘致が進んできた 独身の男性が多く見られるようになった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの取り組みが変わってきた 幼稚園の民間委託化の動きが出てきた 以前は地区の町民祭がコミュニケーションの場となっていたが、そういった機会がなくなった 	<p>【コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終的には精神的な豊かさ、地域の人の心のつながりが大事 気が置けない人に囲まれて笑って暮らせるということ 地域の住民と仲良く暮らす 地域とのつながりを持てるような、文化的要素や体育的要素のある村民大会のような催しが行われていること <p>【精神・ゆとり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かさを求めず現状を維持 物質的な豊かさではなく、たとえば高齢のご夫婦が同じ趣味を楽しんで暮らしている姿を良いと思えるよう子どもが育つこと <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費の自己負担が少ないこと 運動と交流を兼ねてゴルフが安くできること 	<p>【地域活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今やっている地域のつながりを維持する取り組みを大事にする <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア世代の能力を引き出して活用するよ

(3) 各グループ・ヒアリング調査の結果

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (子育て(未就学児)グループ)

実施日：平成27年11月5日(木) 午前10:30～ 出席者11名

Q1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

Q2. 5年前、10年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

<良いところ>

- ・他の地域と比べて助成金も健診も多い
- ・米がおいしい
- ・幼稚園の時間延長や夏休みの対応がありがたい
- ・環境がよい
- ・おじいちゃん、おばあちゃんが子どもに声をかけてくれて安心
- ・保育園が震災時に融通を利かせてくれて急遽対応してくれた



<悪いところ>

- ・夜バイクがうるさい・夜の騒音
- ・子どもを遊ばせる公園が少ない
- ・小さい公園もぜんぜんない
- ・公園に遊具がない、整備がされていない
- ・雨の日に室内で遊べるような所がない
- ・サッカーができるような公園がない
- ・小児科がない、または兼任
- ・病院が少ない・病院が一番課題
- ・病院は佐原や神栖に行く
- ・夜間救急病院がない(取手や土浦へ行くしかなく、救急なのに1時間近くかかる)
- ・救急の対応が良くないし遠い
- ・待機児童ゼロというのは表向きであって実際はゼロではない。親が仕事をやめて子育てするか、両親に頼りきりになっているところがある。
- ・学校が単学級なので狭い世界で逃げ場がない
- ・外灯が少なく暗い
- ・田んぼの煙が酷い、ゴミも焼却している(野焼き)
- ・買い物も不便、病院も少ない、仕事もするにも遠い
- ・フルタイムで仕事をしながら育児をすることは大変
- ・保育園の時間延長

- ・和田公園の整備（遊べる公園に整備してほしい）
- ・夫婦の実家がどちらも稲敷市ではない人は稲敷には住んでいない。買い物も不便、病院も少ない、仕事もするにも遠い、土地は安いけどわざわざ引っ越して来ない
- ・何を利点に合併したのか

Q3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

Q4. Q3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

- ・子育てしていても、時間に余裕があって、のんびり過ごせる感じ
- ・相談する場所（子育てする親の方のケア）
- ・地域のお祭りがほしい（子どもが楽しめる祭り）
- ・かぼちゃ（かぼちゃ公園）を活かしたハロウィンなどのイベント
- ・学校を活用した地域のコミュニティの催事（事務局）
- ・学校の場を借りて地域が集まってくるようなイベント・祭り（盆踊りなど）
- ・休みの日に出かけられるような楽しめる場所
- ・SNSで魅力をアップする（稲敷で行ってみたいという魅力をアップしている人がいない）
- ・笑遊館があるのは知っているが、どんなところか分からない。
- ・健診とかインフルエンザのお知らせと一緒に情報を入れる
- ・COCOLOカフェ（稲敷市子育て支援サイト）にはイベントがないときでもネタ的なものを上げる
- ・江戸崎かぼちゃを活用したハロウィンの子ども向けのイベント
- ・LINEを活用したイベント告知
- ・情報が少ない

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (子育て(就学児)グループ)

実施日：平成27年11月17日(火)午後6:30～ 出席者7名

Q1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

<良いところ>

- ・コミュニティバスが走るようになった
- ・東に海、西に富士山が見えるほど関東平野が続く広大で美しい風景
- ・「あいアイ」は親子とも息抜きができて良い
- ・地域性、近所づきあいが良い
- ・田んぼが多い



<悪いところ>

- ・学校が統廃合されると子どもにとって不便になるので、スクールバスやコミュニティバスの活用を検討するとよい
- ・合併しても4地区が分かれている感がある
- ・子どもの通学路を確保してもらえるのはありがたいが8割赤字は心配なので、必要なことに予算を使うために無駄の削減も必要
- ・ゴミの不法投棄が多い
- ・環境意識が低い
- ・若い世代が働く場所がない
- ・市内に働く場所がない・子育てママの働き場がない
- ・両親が居るから子どもの迎えが可能、居なければ働けない
- ・コミュニティバスは市外に行かないので利用しにくい
- ・コミュニティバスは路線バスに比べて料金が高く、走っていない地域があり利用しにくい
- ・若い世代とのコミュニケーションが減少している
- ・交通の便が悪い、車がないと移動できない

Q2. 5年前、10年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

- ・大きく変わっていない
- ・圏央道が開通して今後活性化されることを期待したい
- ・少子化が進んだ
- ・合併して10年経ったが今後は心配
- ・道が広くなった、圏央道が開通した
- ・医療費の自己負担が少なくなった
- ・子どもの一時的預けをしやすくなった

- ・不審者や犯罪が増えてきている
- ・若い人のコミュニケーションが少なくなっている
- ・外で遊ぶ子どもが少なくなった
- ・ふるさと納税が始まった

Q3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

Q4. Q3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

- ・これからの子どもたちのことを考えると防犯が大切、地域住民を巻き込んで意識を高めて防犯に取り組む
 - ・交通安全の地域サポーターの方（高齢者）がいると犯罪防止になる
 - ・3世代同居が増えるとよい
 - ・子どもが元気に外で遊べる安全なコミュニティがあること
 - ・働き方として市民と企業のマッチングがうまくいっていない
- ※平日9時～16時で土日休み、子どもの具合が悪ければ休める近場の事務の仕事が理想
- ・働きながら子育てできる環境を整えば、新住民が入り易い
 - ・バス問題対策として白タクを導入してはどうか
 - ・子どもの医療費の負担を更に減らしてほしい
 - ・3世代同居した家族に補助金を出す
 - ・高校生の声を取り入れる
 - ・人が集れる情報拠点としての市民大学の開校
 - ・市民大学によりコミュニケーションを促進する
 - ・市民大学で市民講座などを開講して無職の人やニートの人の職業能力の開発に取り組む
 - ・独居老人・ニート等、（市民大学の）情報を届けたい人に確実に届く工夫をする（たとえば、区長の活用・説明資料の工夫等）
 - ・米・ゴルフ場等をもっとPRしてふるさと納税の寄付を促す
 - ・財源も限られているので本当に取り組むべきことを絞ったほうがよい
 - ・市のホームページで転居希望者に提供できる空き家情報を確認できるようにする
 - ・市のホームページを子どもに力を入れている熱意が伝わる作りにするとよい
 - ・いなすけをもっと有名に

Q. 稲敷市の子育て環境・教育の評価はどんなものか。

- ・市外に行きたい（住む場所を選べるとしたら、たとえば牛久市を選ぶ。ホームページから熱意が伝わるし駅もある。稲敷には駅もないし何かあるのか。）

Q. 広報誌は紙媒体がよいか、SNS系がよいか。

- ・どちらもほしい
- ・高齢者にとって一番の情報源は回覧板
- ・自治会に加入していない高齢者には情報が伝わらない

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (学生グループ)

実施日：平成27年11月5日(木) 午後15:00～ 出席者4名

Q1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

<良いところ>

- ・自然が豊かなところ、田園風景や湖が豊富にある
- ・かぼちゃ公園もおしゃれになった
- ・自然が豊かで過ごしやすい
- ・総合センターにある図書館
- ・田んぼの夕日が綺麗
- ・コミュニティがとても良い
- ・(住んでいるアパートの) 子どもも親同士も仲が良い



<悪いところ>

- ・地元の学校の評判があまり良くない(江戸崎地区)
- ・自然すぎて何もない
- ・勉強しやすい場所がない、長時間利用できる場所がない
- ・図書館の開館時間を延長してもらいたい
- ・落ち着いて勉強できるスターバックスとかドトールがあれば良い
- ・生涯学習センターが活用されていない
- ・遊ぶ場所が少ないから子どもが駐車場で遊んでいて危ない
- ・歩いて買い物に行かれる場所やゆったりできる場所があれば良い
- ・駅に出るまで遠く、通学するか引っ越すか、進路を考えるとときに壁になった
- ・結佐に住んでいて、江戸崎の方には行かず、佐原や潮来のほうが主な生活圏になっている(東地区)
- ・稲敷市から出たい(周りに何もない。病院はない、ショッピングセンターはない)(新利根地区)

Q2. 5年前、10年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

- ・高速が通った。ICもできて格好よくなった
- ・子どもが減った
- ・地区対抗の運動会や地域の夏祭りも減った(江戸崎地区)
- ・子どもが少なくなって行事も少なくなった(東地区)
- ・(以前住んでいた潮来と比べて)他所の人も集まってくる祭りがなくて寂しい(東地区)
- ・住宅地でのコミュニティはとてもいい(新利根地区)
- ・ジャージが変わった(新利根地区)

Q3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

- ・今まで通り自然豊かな中で暮らすこと
- ・いろいろな世代が共存できること
- ・(何人ほしいと思うかという質問に対して) 子どもは4~5人ほしい
- ・稲敷市の自然なところはなくしてほしくない
- ・挨拶など人間関係の良さ
- ・人々が交流しているというイメージ
- ・良いコミュニティ
- ・(これがあれば気持ちよく戻ってくるというものはあるか、という質問に対して)今は遊べる場所、将来的には大きな病院と品揃え豊富なショッピングセンターがあれば良い
- ・(車があれば少し遠いところで買い物をするのは苦ではないか、という質問に対して) 買い物に車で30分というのは慣れだと思う

Q4. Q3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

- ・お年寄りと子どもが交流する機会を増やすと良い
- ・行事などいろいろな交流の仕方がある
- ・稲敷市の魅力に気づいていないため、市のことを知ること、発信していくことが大事
- ・出て行きたくないという人を増やすために交流を深める
- ・学校の総合的な学習の時間などを活用して、市の良いところを勉強する時間を設けて、地元に対する愛着を育む
- ・ポスターなどの呼びかけや、小学校、幼稚園でも保育園でも自分のまちを少しずつ学んでいけば、大人になっても稲敷市の良い面を認識してもらえる
- ・江戸崎の体育館を活用して情報発信する
- ・何もしてくれないと言う前に、興味を持って知ることが市民としてできること
- ・まず市民同士が挨拶などをする

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (働く世代 20～30 代グループ)

実施日：平成 27 年 11 月 11 日（水）午後 19：30～ 出席者 18 名

Q 1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

<良いところ>

- ・圏央道のインターチェンジが 2 箇所あり、高速道路を利用しやすい
- ・江戸崎まんじゅうがおいしい
- ・ブラックバス釣りが売り
- ・ゴルフ場が多い（日本ウェルネススポーツ大学のゴルフ部を誘致した）
- ・鴻野菓子店の「こうのの大福」がゴルフ客に人気
- ・ミルクークイーンの元祖は稲敷市（旧東町）
- ・住みやすい
- ・都会へのアクセスがよい
- ・自然災害が少ない
- ・温暖で住みやすい気候
- ・通勤ラッシュのストレスがない



<悪いところ>

- ・子育て支援が充実していない（小学 1 年生でも片道 40 分の自転車通学、バス通学ができればよい）
- ・商業地の誘致が進んでいない（圏央道で他所に行き稲敷に金が落ちない）
- ・鉄道がない
- ・催事が中小規模でインパクトがない
- ・農作物（米、れんこん、かぼちゃ）のアピールができていない
- ・米は県内市町村でトップの作付面積なのに認知されていない
- ・放課後に学校で習い事・塾をやってもらいたい
- ・ゴルフ練習場がない
- ・精神病院が多い（全国平均の 5 倍）
- ・自殺率が県内トップ 5
- ・遊ぶところも見つからない

Q 2. 5 年前、10 年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

- ・コンビニが 2 軒できた
- ・ソーラーパネルだらけになった
- ・人口が減った

- ・特に変わったことはない
- ・子どもが少なくなった
- ・生活が向上しているという点はない
- ・後継者がいない
- ・空き家が増えた
- ・子どもより老人が多くなった

Q3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

- ・お金があって子どもや家族と接する時間が多いこと
- ・公園で老人が子どもの面倒をみている光景
- ・子どもが大勢元気に外で遊んでいること
- ・飲み屋が増えたらよい
- ・家族で遊びに行く場所や病院など稲敷ですべてできること
- ・友達を呼べること
- ・幸福度が高いこと
- ・社会的排除者が活躍できること
- ・子どもが安心して育つ環境
- ・独居老人になっても孤独死しないコミュニティ
- ・子どもや若者の賑わい
- ・家族で過ごす時間があること
- ・仕事場が近くにあること
- ・ストレスをためないこと
- ・都会へ出た人が気軽に帰ってきてやすいこと
- ・社会的役割を果たせること
- ・地域のコミュニティ
- ・まちの発展
- ・住んでいて楽しみがあること
- ・不安が少ないこと
- ・まちに活力があること

Q4. Q3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

- ・バス路線の充実
- ・若者を流入させる仕組み（起業農家育成、空き家の活用など）
- ・雇用・働く場所を増やす
- ・農作物を活かしたオリジナル商品を作って全国の百貨店で販売する
- ・霞ヶ浦を浜名湖のジェットスキーのように活用する
- ・人を呼べるようなおしゃれなフェスの開催
- ・社会的役割を果たせるような活動と参加ができる何か
- ・企業誘致

- ・和田公園を土浦の水郷公園のように整備する
- ・サービスエリアやパーキングエリアを観光拠点にする
- ・若い世代が住めるように雇用を増やす
- ・人口が増えている先進自治体の事例を真似るとよい
- ・医療に不安を抱える高齢者が多いので、稲敷市全体で取り組めばPRポイントになる

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (働く世代 40～50代グループ)

実施日：平成27年11月25日（水）午後2：00～ 出席者6名

Q1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

<良いところ>

- ・観光資源や物産など地元の良さがある
- ・静かで住宅の庭も広い
- ・空気が美味しい
- ・イベントなどで人を集めようと努力している
- ・庁舎が増えてどこでも手続きができる
- ・自然が多い
- ・静かで商店街もあり、ちょうど良い田舎
- ・浮島のとうもろこしが美味しい
- ・あげ餅が美味しい



<悪いところ>

- ・近隣（阿見、神崎）と比べて圏央道に対する取り組みが消極的
- ・電車もなく、バスも減り、買い物にも学校にも不便
- ・車がないと仕事が見つからない
- ・コミュニティバスを使うと1日がかかりでとても用を足せない
- ・他所から来た人が地域のコミュニティに入り込むのが難しい
- ・庁舎によって細かい手続きが違うところがある
- ・大杉神社は昔は風情があったが今はなくなってしまった
- ・よくテレビや映画のロケ地になるがPRが不足していて稲敷の名前が出ない
- ・ロケ地の案内がないので迷っている観光客（車）を見かける
- ・合併して地域のまとまりや責任感がなくなった、旧町村同士が1つになっていない
- ・名物があっても活かさきれていない
- ・店が少ない
- ・名物がない
- ・最近減ってきたが、田んぼや庭で家庭ゴミを燃やしていて空気が悪い
- ・周辺の市町村では地域のイベントが盛んに行われている。

Q2. 5年前、10年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

- ・合併したことで、埋もれていた観光資源や物産など地元の良さが見直され、いなすけが生まれた
- ・圏央道ができて利便性が高くなった
- ・新しい店ができた

- ・新住民の家が建った
- ・空き家が多くなった
- ・挨拶が少なくなった
- ・米の需要が減ってきている
- ・防犯のために子ども達が登下校時に名札を外し、知らない人には声をかけないようになった
- ・町村単位でやっていた運動会や花火大会などのイベントは、合併してからなくなってしまった
- ・地域の交流の場がなくなった
- ・時代の変化が加速度的に速まっている（商店街における商売の在り方など）

Q 3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

- ・環境がよくて住みやすいこと
- ・挨拶と笑顔がたえないまち
- ・市の魅力が求心力になって市全体の一体感があること
- ・3世代が笑って一緒に暮らしていること
- ・ゆっくり時が流れている中で生活している

Q 4. Q 3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

- ・（圏央道に関して）外に向けての要望やPRを積極的にする
- ・手軽に健康維持できるので、卓球台2台くらいの卓球場を多く作る
- ・環境を守るために、できるだけ空気を汚さないようにする
- ・どんな人でも集まれるような地区ごとのイベントを実施することで既存のコミュニティに新住民や外国人でも入り易い環境をつくる（コミュニケーションの場をつくる）
- ・子どもも大人も楽しめる花火大会を実施する
- ・作りながら会話が弾む芋煮会のようなイベントを実施する
- ・コミュニティバスを増設する
- ・旧町村が一つになれるような市全体としての連携を促進する
- ・農地をコミュニティの場にする
- ・びわを名物にして食べ比べなどでまちおこしする
- ・使っていない畑で珍しい野菜や果物を栽培してまちおこしする
- ・かぼちゃだけではなくて、蓮やとうもろこしを活用する
- ・道路をもう少し明るくした方がよい
- ・子どもを守る110番の家の門扉が閉まっているので見直しをしてほしい
- ・地域の物産をお客さんに食べてもらう
- ・各地区の商工業者が積極的に地元の物産をお互いにPRしあう
- ・イベントの賞品を地元の産物にして持って帰ってもらう
- ・直売所や道の駅のようなものが何箇所もあると良い
- ・米を上手く炊けた人コンテスト、利きライスコンテストをする
- ・稲敷市を愛するキーワードとして、いなすけを活用して一体感を醸成する

第2次稲敷総合計画策定に係るグループ・ヒアリング実施記録 (シニア世代グループ)

実施日：平成27年11月17日（火）午後2:00～ 出席者7名

Q1. あなたにとって、稲敷市の良いところ・悪いところはどこでしょうか。

<良いところ>

- ・温暖な気候に恵まれている
- ・津波の心配がない
- ・圏央道の開通で交通アクセスが良い
- ・米の有数の産地
- ・れんこん(浮島地区はNHKの全国放送で放送されて有名)、とうもろこし、大根が直売所でも良く売れる
- ・ほどほどに都市化していても人間的な純朴さが残っている
- ・昔の中学生の礼儀正しさ
- ・役場の職員が一生懸命頑張っている
- ・カナダのサーモンアーム市との姉妹都市交流に旧東村時代から積極的に取り組んでおり、カナダでは4本の指に入るほど評判が高い
- ・姉妹都市交流を始めた旧東村の村長のグローバルな人材を育てるという思いを歴代首長が引き継いできている
- ・市民の健康づくりのために「めざせ頂上!! 60万歩チャレンジウォーキング」を健康増進課が推進している
- ・暖かい、災害がない、冬でも活動できる
- ・米が美味しい
- ・緑が多い
- ・自然災害が非常に少ない
- ・住民が温厚で人情味に富んでいる
- ・自然災害が少ない、暖かい、緑がある
- ・東地区の老人クラブの活動（毎月開催される輪投げ大会のために、毎日練習して、身体と頭を使い、おしゃべりをしている）



<悪いところ>

- ・昔の習慣や慣わしが残っていて、男女共同の意識を高めること、お互いを認めることが難しい
- ・審議会等の女性の割合が少なく、女性が活用されていない
- ・最後の終末期をどこで過ごすか、人権尊重されているのか疑問に思う
- ・公共交通の便が悪い
- ・交通の便

- ・教育の面で先生方が苦勞されている
- ・ハンディキャップのある子どもや、生活に精一杯な子どもたちが姉妹都市交流になかなか応募してくれない
- ・サービスを委託しているため、弱者（高齢者）との役場職員の直接的な係わりが薄い
- ・回覧板を回す軒数が多すぎる
- ・情報伝達をホームページだけで済ませてしまう姿勢はおかしい
- ・アップダウンがない土地なので、堤防を利用したアスファルトでないウォーキングロードが出来るとうい
- ・成田空港の航空機の離着陸の騒音、特に旧柴崎地区ではテレビの音も聞こえないことがある
- ・圏央道がうるさい

Q 2. 5年前、10年前と比べて稲敷市はどのように変わったと思うか。

- ・住む人が減って空き家が増えた
- ・小学校の統廃合が進んでいる
- ・人口が減少してきている
- ・農業の担い手がいなくなってきた
- ・米作りが企業化、大規模化されるケースがでてきた、品質が心配
- ・独身の男性が多く見られるようになった
- ・耕地整備されているところでも耕すだけで作付けしないところが増えてきた
- ・古渡地区の湖のフェンス設置は一部だけで頓挫し、排水のつまりを役所に相談しても前区長時代から放置されている
- ・健康づくりの取り組みが変わってきた
- ・幼児教育・家庭教育が大事な時期になってきた
- ・幼稚園の民間委託化の動きが出てきた
- ・廃校跡地を活用して野菜工場ができた（もっとPRするとよい）
- ・工場誘致が進んできた
- ・少子高齢化、学校統廃合
- ・米作中心農家が多いが、国の農業政策の影響を受けて収入低下、農業従事者の高齢化が顕在化し、ジリ貧状態になりつつある
- ・誘致企業が増えている
- ・農地の集積化が進んだ
- ・米の値段が半額になって、大きくやらないとやっていられない
- ・以前は地区の町民祭がコミュニケーションの場となっていたが、そういった機会がなくなった
- ・畑の耕作放棄地は水田より多くなっている

Q 3. あなたが「稲敷市で豊かに暮らしている」イメージはどんなものですか。

- ・ある程度年金がもらえるところに就職すること
- ・医療費の自己負担が少ないこと
- ・運動と交流を兼ねてゴルフが安くできること
- ・豊かさを求めず現状を維持して暮らし、心と気持ちはゆとりを持って生活する

- ・ 経済的か精神的か葛藤があるが、人間が人間として豊かになっていく、本当の幸せとは何かと常に問いかけながら生きていること
- ・ 物質的な豊かさではなく、たとえば高齢のご夫婦が同じ趣味を楽しんで暮らしている姿を良いと思えるよう子どもが育つこと
- ・ 地域とのつながりを持てるような、文化的要素や体育的要素のある村民大会のような催しが行われていること
- ・ 最終的には精神的な豊かさ、地域の人との心のつながりが大事
- ・ 気が置けない人に囲まれて笑って暮らせるということ
- ・ 地域の住民と仲良く暮らす

Q4. Q3を実現するために、稲敷市あるいは市民・地域は何をしたら良いでしょうか。

-
- ・ 今やっている地域のつながりを維持する取り組みを大事にする（たとえば、東地区の老人会の輪投げ大会の支援等）
 - ・ (生活保護不正受給問題について) 本当に困っている人を助けること（昔ながらの地域住民に溶け込んで暮らしている人にはそんな人はいない）
 - ・ 東地区の輪投げ大会や江戸崎地区・新利根地区の運動会のような老人クラブの取り組みや、文化協会のサークルなどの集まりを続けられるように、大人数で活動できる場所を確保する
 - ・ 敬老会の対象年齢が上げられてしまったが、有名人を呼ばずに、4支部に分けて開催したら良い
 - ・ シニア世代は何かに係わろうという気持ちは強いしパワーがあるから、あなたにできることを手伝ってくれ、とシニア世代の能力を引き出して活用するとよい